総社市立秦小学校 **学校だより** 令和４年度　第１７号
令和５年１月２７日（金）

☆　健康委員会のみんなで調べてくれました！　☆

毎年１月２４日から１月３０日までは全国学校給食週間となっています。昭和２１年１２月２４日に東京都内の小学校において外国からの援助で給食物資の贈呈式が行われて以来、この日を「学校給食感謝の日」と定めました。学校給食による教育効果を促進する観点から、昭和２５年より冬季休業日と重ならない１月２４日からの一週間を「学校給食週間」としたのが始まりです。しかし学校給食の始まりはもっと古くからあります。健康委員会のみんなが活動の一つとして「学校給食の歴史」についてタブレット等で調べたことをまとめ、全校の児童に給食の時間を利用して放送してくれましたので、その内容を紹介します。

『みなさんは、給食がいつ始まったのか知っていますか。給食は今から１３３年前の１８８９年に始まりました。山形県鶴岡市にある大督寺（だいとくじ）というお寺で出されたのが始まりです。大督寺の中に建てられた私立忠愛（ちゅうあい）小学校で、貧しさによって生活が苦しい子どもたちに無料でお昼ごはんを用意しました。献立はおにぎり２個と塩鮭、菜の漬物です。食べ物は全て大督寺のお坊さんが町にある全ての家をまわり、お釈迦様からの大切な教えをまとめたお経を唱えることで頂いたお米やお金で用意したものでした。これが日本における学校給食の始まりとされています。１３３年ある歴史の中で給食はどのように進化していったのでしょうか。１８８９年に山形県で始まった給食は、その後日本中に広がりました。岡山県では１９１１年に給食が始まりました。当時はごはんよりもパンの方が多く給食に出されていたそうです。現在の給食では食に関する正しい知識と習慣を身に付けることを目指しています。そのため栄養も豊かになり、献立の種類もたくさん増えました。こうして給食は今や私たちにとって無くてはならない存在となりました。これからの学校給食がどのように変化していくのか楽しみですね。昨日と今日に渡って給食の歴史を紹介しました。感謝の気持ちをもってこれからも美味しく給食をいただきましょう。』

他にも、給食週間の紹介や食事に関する絵本の紹介もしてくれました。
健康委員会のみなさん、立派に活動できましたね。

☆　入賞、おめでとう！　☆

『第６８回青少年読書感想文岡山県コンクール』
入　選　第６学年　　さん　　佳　作　第５学年　　さん

『税に関するコンクール』
【小学生書写の部】
中国税理士会倉敷支部長賞　第５学年　　さん
総社商工会議所会頭賞　　第４学年　　さん
【小学生絵はがきの部】
入　選　第６学年　　さん